

けやき通り歩道の 安全対策について

成本 直寛



問 けやき通りは市内の多くの方が利用する。歩道は経年劣化による段差や穴が見受けられ、歩行や自転車走行に危険を感じる等の心配の声が上がっている。また、街路樹の樫は成長し大木化しており交通安全への影響、根上がりによる歩道隆起、突風による倒木の心配、夜間照明が暗く感じる等、市民の意見への対応は。

答 歩道の段差修繕は、道路パトロールや市民の声を元に計画している。令和3年度は道庭～高久の約1kmの範囲で水道管の埋設箇所の舗装復旧に合わせて実施していく。自転車と歩行者の分離については警察と協議し検討していく。樫の木の管理については点検を行い、倒木の危険性に関しては早期発見に努めている。

問 小学生の通学路となっている、けやき通りの中曽根と道庭の歩行者信号は、中曽根は一方のみ設置、道庭は歩行者信号が設置されていない。今後、設置していく予定は。

答 通学路であるということを確認した上で警察と協議を行っている。今後も児童や生徒の利用状況の調査を継続して行っていく。

「生理の貧困」への 継続的な対応を

五十嵐 恵千子



問 コロナ禍による経済的な理由や生理への無理解から、生理の貧困が顕在化しています。当市の取組みと継続的な支援について伺う。

答 公明党市議団から要望書が提出され、早期に対応を検討し、防災備蓄品の更新予定であった生理用品300パックを3月29日から必要とする方へ配布。女性総合相談窓口へのご案内を添え、設置したチラシを指さすだけで受け取れるように配慮した。今後は、国の交付金も視野に入れて支援していきたい。

答 提供することをきっかけに、性に関する正しい知識を身に付けさせる指導方法などを検討するため、市内の関・中曽根小学校において先行して配布し、その後、全校での提供に向けた準備を進めている。

◆障がい者の「在宅就業支援」を

問 当市の現状と新たな仕組みづくりは

答 支援すべきだが現状は具体的に踏み込めていない。相談者への対応を早急に検討し、今後、新たな検討会議でもご意見を伺い検討していきたい。

主要幹線道路の延伸を 第6次総振の構想へ

降旗 聡



問 第6次総合振興計画を策定するため審議会が開かれている。計画案には将来都市構想・土地利用構想図が示された。そこで、①越谷吉川線と三輪野江バイパス接続の考え。②さくら通りの4車線化の現状と、かち橋までの延伸の見直しについて。

答 ①越谷市方面と県道三郷松伏線を円滑に連絡する主要幹線道路として位置付けており、越谷吉川線と接続する県道加藤平沼線を東方に延伸する構想。

②越谷吉川線の開通に伴う交通渋滞などの改善を図るため、一之橋交差点から越谷吉川線までの約600mの区間について本年度から事業主体である県が工事に着手する予定。

また、かち橋までの延伸については、三郷吉川線と接続できる幹線道路がないことから、構想はないが、三郷吉川線が全区間整備された場合、三郷吉川線からかち橋までの既存の道路については、交通量が変化すると考えられるので、道路改良などを検討しなければならないと認識している。

誰もが楽しめる 公園整備にむけて

稲葉 剛治



問 インクルーシブ公園について、以前取り上げさせていただき、先進事例の視察など、障がい者の方からのニーズも踏まえながら、公園再生プロジェクトの中で考えたいと答弁をいただいていた。その後の進捗状況について伺う。

答 これまで、インクルーシブ遊具を導入した先進的な公園の視察を行った他、遊具メーカーなどからも情報収集を行っており、今年度は遊具メーカーが企画するインクルーシブ遊具の体験会などへの視察を予定している。

◆電話リレーサービスの周知について

問 今年の7月から開始される電話リレーサービスの周知方法を伺う。

答 当サービスは、6月から利用登録がスタートしたところであり、現在、市ホームページにおいてご案内をしている。来月号の広報においても同様のご案内を予定しており、聴覚や発話に障がいがある方だけではなく、市民の方々にも広く認知されるよう、その周知に努める。聴覚障がい者団体の方々とは、引き続き情報共有を行っていく。